



三陸には、さんりくの園があるから 安心といわれる 「地域密着サービス」の充実を目指して



平成29年度
全国社会福祉大会長表彰
社会福祉法人 三陸福祉会
山田 林 理事長

1999年に施設長(理事)に就任以来、地域の少子高齢化等による在宅介護ニーズの増大に応える。2011年の東日本大震災津波で施設は全壊し壊滅状態となり、2012年に理事に再任。施設、法人の再建に取り組み、2014年に施設移転再開等、法人・地域介護サービスの向上に努める。

地域密着型サービスなど制度上、新しい事業を実施し、認知症高齢者への対応など、地域住民が安心してサービスを受けられるよう運営を行っている。

岩手県高齢者福祉協議会沿岸ブロック(福祉協議会)会長、岩手県高齢者福祉協議会会長及び副会長を務め、要職を歴任。団体発展に貢献した。県社協評議員、岩手県社会福祉協議会社会福祉法人経営者協議会幹事を務め、岩手県内の福祉推進に尽力、貢献している。

開設から25年。当初から「地域とあなたと共に」をスローガンに、介護のベストパートナーとして、地域の皆さんと一緒に明るく笑顔のあふれる楽園づくりを目指してきました。それだけに地域の皆様方

と共に受賞を喜びたいと存じます。東日本大震災津波により全施設が全壊し、再開されるまで大変ご苦労をなさいましたが

立されました。振り返りますと旧気仙郡二市二町で福祉施設がないのは三陸町だけで、平成4年に旧三陸町が主体となって法人を設立し、平成5年度に特別養護老人ホームさんりくの園、さんりくの園デイサービスセンター等を開所しました。

東日本大震災津波後、同月に大船渡市社協YSセンターに仮事務所を設置し、訪問系事業を再開しました。同じく8月に越喜来地区で休業中の旅館でデイサービス事業を再開しました。

以降、訪問介護、居宅介護支援、認知症対応型共同生活介護などを順次実施してきました。開設当初は公設民営の施設で、県からの補助金を除く全額を旧三陸町が負担していました。

これまでのご支援に感謝するとともに、この教訓や介護事業を展開してきたことによる知識と経験の蓄積、ネットワークを大切に活かしながら、地域の方々から「三陸地域には、さんりくの園があるから安心」といわれるように、懇切丁寧・誠心誠意の姿勢で「地域

社会福祉法人三陸福祉会
会報
人福祉事業団体として設立

平成29年度全国社会福祉大会長表彰受賞の喜びをお聞かせください

地域の方々の多大なご協力をはじめ、国内外から多くのご支援をいただきました。津波の心配のない高台に全事業を新築移転することができ、平成26年から順次全サービスを復旧することができました。

と共に受賞を喜びたいと存じます。

これからの課題などをお聞かせください

私たち法人は利用者皆様の満足度の向上のための行動と仕組みを構築し、「利用者皆様の安心とそ

の皆様との信頼関係の構築」に努めて参りたいと思っております。

課題としては介護職員の人材不足、介護報酬の減額等や高台移転による借入金償還などがあります。住み慣れた地域で安心して「自

います。行政・地域・住民と一緒に地域福祉向上のために努力して参ります。

岩手県社会福祉大会開催



第70回岩手県社会福祉大会(主催:岩手県社会福祉協議会・岩手県共同募金会)が11月1日に岩手県民会館で開催され、社会福祉関係者等、約1,200人が参加しました。

スの利用援助などに加えて、住民の主体性に基づいた活動や、福祉に関わる事業者の連携協働の下に、世代や分野を超えてつながる新たな支援策を積極的に展開すること

大会宣言
一、被災者や、制度の狭間で困窮する人々が抱える様々な生活課題の解決に向け、公的福祉サービ

一、福祉分野のみならず、医療・保健・教育・労働など、多種多様な分野の組織、機関等とネットワークを強化し、より効果的な活動の展開に努めること